

社会福祉法人愛生会

平成30年度事業報告書

1. 本部拠点（八千代市吉橋 1059-17）
 - ①社会福祉法人愛生会
 - ②特別養護老人ホーム愛生苑・ショートステイ愛生苑
 - ③在宅介護支援センター愛生苑
 - ④ケアハウスガーデンライフ八千代

2. かがやき拠点（八千代市大和田新田 346-1）
 - ①愛生苑デイサービスかがやき

3. なごみ拠点（八千代市緑が丘 2-17-1）
 - ①グループホームなごみ
 - ②小規模多機能居宅介護なごみ

4. 村上地域拠点（八千代市村上 1113-1 村上団地 2-7-104）
 - ①八千代市村上地域包括支援センター

平成 30 年度 社会福祉法人愛生会の事業報告

はじめに（総括）

平成 30 年度はサービス活動収益の向上に取り組み、法人全体としては前年度より増加した結果となりました。しかしサービス事業所によっては減少した部門もあり、全ての課題が解消したとはなりませんでした。

サービス活動収益の増加の一方で、収支差額は厳しい結果となっております。全体的には人件費の増加が顕著となっております。事業所別としては、やはり小規模多機能型居宅介護が課題解消の最優先事項であり、平成 30 年度の取り組みが種まきとなり、2019 年度にそれが芽吹くことになる様、計画的に運営して参ります。

職員の採用につきましては、一層困難さを増していると実感した 1 年となりました。介護職は一定数で充足していたので問題ありませんでしたが、それ以外の職種においては、職員補充の必要が生じた際に、採用に至るまで今まで以上に長い時間がかかると痛感した次第です。

人材育成については概ね予定通りに進めることができました。「場づくり」「健全度」「意識化」をテーマとした施設内研修は個々人の育成だけではなく、職場内の雰囲気づくりにも役立つことになると思われます。また、管理職 2 名に外部研修に参加していただきましたが、参加した本人にとっても法人にとっても良い結果が得られたと感じております。

最後に、プラスの要因が少なく厳しい先行きが予想されたとしても、社会福祉法人として地域や社会への貢献のために「人財の育成と確保」、「安定した財務状況」は常に一定水準以上を保たなければならず、引き続き確りとした運営を執り行って参ります。

平成 30 年度 特別養護老人ホーム愛生苑・ショートステイ愛生苑の事業報告

1. 特別養護老人ホーム 愛生苑

(1) 平成 30 年度 月別入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	0名	1名	2名	0名	0名	1名	0名	1名	2名	2名	1名	1名
退所	2名	0名	1名	0名	0名	1名	1名	2名	2名	2名	3名	1名

新規入所 合計 11 名（経緯：在宅 7 名、他施設 3 名、病院 1 名）

退 所 合計 15 名（苑内にて 2 名、病院にて 7 名、長期入院 5 名、他施設入所 1 名）

(2) 平成 30 年度 月末入所者数の推移

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	延べ人数
4月	5名	2名	16名	22名	17名	62名	1,800名
5月	5名	2名	17名	23名	16名	63名	1,862名
6月	4名	3名	17名	24名	16名	64名	1,800名
7月	4名	3名	17名	24名	16名	64名	1,837名
8月	3名	5名	17名	23名	16名	64名	1,888名
9月	2名	5名	17名	24名	16名	64名	1,805名
10月	2名	5名	16名	24名	16名	63名	1,869名
11月	2名	5名	14名	25名	16名	62名	1,824名
12月	2名	4名	14名	26名	16名	62名	1,869名
1月	2名	4名	14名	27名	16名	63名	1,783名
2月	2名	4名	14名	26名	14名	60名	1,530名
3月	2名	4名	15名	26名	13名	60名	1,774名
合計	35名	46名	188名	294名	188名	751名	21,641名

※定員 64 床にて稼働

(3) 年齢構成 ※平成 30 年度末月集計より

年齢階層	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～
男女合計	0名	11名	25名	24名	0名

(4) 平成30年度年間の男女平均年齢、最高年齢

男性平均年齢	83.4 歳	最高年齢	94 歳
女性平均年齢	87.3 歳	最高年齢	99 歳
男女平均年齢	86.6 歳		

(5) 平均介護度

・ 男性平均介護度 3.6 ・ 女性平均介護度 3.8 ・ 男女合計平均介護度 3.7

(6) 平成30年度 年間行事活動報告

	装 飾	行事・外出	月間レクリエーション
4月	桜	お花見外出、外食ツアー クッキング、お楽しみおやつ	お楽しみ入浴（薔薇入浴剤） 生け花・音楽療法
5月	鯉のぼり	バラ園、動物公園外出	お楽しみ入浴（菖蒲湯） 生け花・音楽療法
6月	あじさい	バラ園外出、ソフトクリーム屋さん 花の美術館	お楽しみ入浴（入浴剤） 生け花・音楽療法
7月	七夕飾り	七夕、すいか割り お楽しみおやつ	お楽しみ入浴（入浴剤） 生け花・音楽療法
8月	夏祭り	夏祭り 東葉サマーコンサート	お楽しみ入浴（入浴剤・花） 生け花・音楽療法
9月	秋の装飾	ソフトクリーム屋さん 敬老会	お楽しみ入浴（入浴剤） 生け花・音楽療法
10月	紅葉	近隣外出 お楽しみおやつ	お楽しみ入浴（りんご湯） 生け花・音楽療法
11月	冬の装飾	マグロ解体ショー お楽しみおやつ	お楽しみ入浴（みかん風呂） 生け花・音楽療法
12月	クリスマスツリー 正月飾り	クリスマス会 餅つき	お楽しみ入浴（ゆず湯） 生け花・音楽療法
1月	正月飾り	初詣 正月遊び	お楽しみ入浴（入浴剤） 生け花・音楽療法
2月	節分	豆まき、おでん屋台 リクエスト食（うな重）	お楽しみ入浴（入浴剤） 生け花・音楽療法
3月	ひな人形	クッキング（パン祭り） いちご狩り	お楽しみ入浴（入浴剤） 生け花・音楽療法

2. ショートステイ愛生苑

(1) 平成 30 年度 月別利用者数の推移

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	実人数	延べ人数
4月	0名	17名	140名	200名	4名	63名	31名	424名
5月	0名	32名	131名	197名	14名	67名	32名	441名
6月	2名	27名	106名	146名	65名	74名	33名	420名
7月	2名	27名	97名	160名	89名	69名	30名	444名
8月	2名	23名	91名	185名	83名	72名	30名	456名
9月	2名	7名	84名	180名	84名	76名	27名	433名
10月	2名	9名	85名	194名	61名	74名	27名	425名
11月	2名	10名	91名	148名	55名	75名	29名	381名
12月	2名	12名	103名	167名	70名	73名	27名	427名
1月	2名	11名	95名	180名	73名	76名	27名	437名
2月	2名	11名	45名	149名	60名	79名	26名	346名
3月	2名	14名	105名	178名	78名	52名	30名	429名
合計	20名	200名	1,173名	2,084名	736名	850名	—	5,063名
割合	0.3%	4.0%	23.2%	41.2%	14.5%	16.8%	—	—

(2) 利用状況

①平成 30 年度新規利用者数 20 名（全て八千代市在住の方）

②地区別利用実績 八千代市、習志野市、船橋市、千葉市花見川区

(3) 年齢構成

①平成 30 年度末月集計より

	～59 歳	60 歳～69 歳	70 歳～79 歳	80 歳～89 歳	90 歳～99 歳	100 歳～
男性	1	0	1	8	0	0
女性	0	0	3	8	8	0

(4) 平成 30 年度年間男女平均年齢、最高年齢

男性平均年齢	80.1 歳	最高年齢	99 歳
女性平均年齢	85.6 歳	最高年齢	98 歳
男女平均年齢	83.6 歳		

(5) 平均介護度

- ・ 男性平均介護度～3.0
- ・ 女性平均介護度～3.4
- ・ 男女平均介護度～3.2

3. 各課業務、活動報告

(1) 生活相談課

①業務報告

入退所業務	月次業務	行政との連絡調整	地域連携、その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入所相談 ・ 入所検討 ・ 事前面接、調整 ・ 契約書作成、説明 ・ 書類作成 ・ 金品管理、返還手続き ・ 解約手続き ・ 行政へ報告書類作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談業務 ・ 生活状況確認 ・ ご家族への連絡 ・ カンファレンス ・ 近況報告、書類 ・ 入退院連絡調整 ・ 苑内外の行事調整 ・ 介護保険請求業務 ・ 受診、救急対応 ・ 各会議への参加 ・ 送迎業務 ・ 事業間連絡調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入退所状況報告及び書類作成 ・ 介護保険申請 ・ 認定調査調整 ・ 行政代行手続き ・ 各種報告書作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設見学、説明 ・ 職場体験学習受入(小学校、中学校) ・ 実習生受け入れ ・ 地域催し物への参加 ・ ボランティア受入 ・ 地域ケア会議

②部門計画の報告

＝特別養護老人ホーム愛生苑＝

1. 特養の安定稼働

入所申込者の優先順位をもとに入所作業を進めていましたが、中重度の利用者が増え、加えて体調不安定な利用者が増えたことで、入院に繋がるケースが常時発生すると共に退所に繋がりやすい結果となりました。対策として、入院者の状況把握と入所判定会議を継続的に行い、待機者を確保して安定的に入所者を維持しておりましたが、入院者や退所者が重なる時期は対応が遅れて空床発生期間が長期化する結果となりました。次年度に向けて稼働安定性の向上が課題となりました。

2. エリア別介護実践に伴うケアマネジメントの強化

入所前後の説明や介護する上でのフォローがマンネリ化し、行き届かない結果を招くなど部署間連携が不足し利用者や家族不満に繋がることがありました。不安を解消出来ずに早期退所に繋がるケースも発生しました。改善に努めて基本業務の見直しや、教育指導を行ってきましたが、今後も多職種連携サービスが課題となりました。アセスメントした内容を情報共有し、必要介護を受けるための組織体制強化も含めたエリア別介護も実践できなかったため、次年度への課題となりました。

＝ショートステイ愛生苑＝

1. 実人数の維持及び向上、ニーズに基づく質の高いサービスの提供

平成 30 年度、契約者の施設入所及び疾病による入退院などが度重なり、計画通りの実人数を増加する運びが停滞してしまう結果でした。下半期より著しく実人数が減り、営業活動を新たに見直す形での動きが今後の最重要課題となりました。個別ケアについては前年度より開始したケアチェック表を改良し、よりケアスタッフが分かりやすい形に変えた事で、事故や怪我のない安全なサービス提供に繋げる事はできましたが、ケアに費やす時間が増える利用者状況から余暇活動への時間を取るのが軽減され、今後は余暇活動に対する個別化への取り組みも課題となりました。

(2) 介護サービス課

①部門計画の報告

1. エリア別介護の実現

4 月からエリア別介護実現の為、委員を選抜し会議を重ねてきました。【静養エリア】【認知症エリア（軽度）】【認知症エリア（重度）】【自立エリア】【リハビリエリア】と、利用者の状態に合わせたエリア分け、職員の人員配置、提供できるサービス内容の抽出、業務内容を決定し移行準備は順調に進める事ができました。7 月に全職員へエリア別介護の勤務説明会を実施し、後一步という所まで進める事ができましたが、職員が定着せず退職も相次ぎ人員確保ができずに実現が叶いませんでした。現在人員確保と教育に重点を置き新人職員の育成に力を入れ、人員確保が整い次第エリア別介護移行を進めていきます。利用者の状態変化もありましたので再度打ち合わせを重ね準備期間とできる事から始めていきます。

2. 介護事故防止への取り組み

平成 29 年度の反省を生かし、平成 30 年度は勉強会や外部研修を施設に招き多くの職員が学ぶ機会を作ってきました。利用者の平均介護度が高くなるにつれ、要見守り強化の利用者が増え事故は今年度も多く発生しましたが、緊急リスクマネジメント委員会を随時開催し再発予防に取り組む事ができました。課内で予防策が定着しているかどうかは、指導職員が中心となり確認し必要時は再指導を繰り返してきました。今後も継続し利用者が安心して楽しく生活が送れる施設を目指します。

②委員会の各種活動報告

委員会	活動内容
生活委員会	排泄担当：排泄用品の管理と集計、排泄状況の把握・見直し、勉強会開催 排泄一覧表更新、新製品に変更、毎月活動報告書提出 入浴担当：入浴機器、必要物品（集毛器・機械浴・消毒・ろ過装置・備品） の管理、入浴形態の変更、入浴チェック表の管理、

	<p>入浴一覧表作成、清掃チェック表の確認、活動報告書提出 食事担当：食品発注・歯ブラシ交換と管理・食品棚・冷蔵庫整理、 ポット洗浄、トロミー一覧表変更、活動報告書の提出 おしぼり・タオル・エプロン・物品の購入と管理 食事摂取表の管理</p>
レク委員会	<p>年間行事の決定、参加ご利用者・担当職員決め、月間予定表の作成、レク用品・装飾用品の管理、装飾管理、お楽しみ入浴・お楽しみおやつ・クッキング・余暇活動の企画と実行、栄養士と連携し食行事の実行</p>
リスク委員会	<p>事故集計と分析・対策検討、事故報告書・外傷報告書・薬報告書・ヒヤリハットの書類管理、勉強会開催、職員への事故要因・対策の発信、感知センサーの管理・修理</p>
環境委員会	<p>感染症対策（物品管理とマニュアル作成、注意喚起）、寝具管理、害虫駆除対策、掃除用具の管理・交換、勉強会開催、感染予防への啓発活動、靴洗い管理、体位変換表の更新</p>
褥瘡予防委員会	<p>勉強会開催、マニュアル・指針の見直し、褥瘡発生者の計画書作成と振り返り、エアマット・体位変換クッション・クッションの管理、2月から毎月会議を開始し褥瘡予防委員会活動の発足</p>

③施設内勉強会開催内容

4月	虐待勉強会
5月	リスク事故防止勉強会
6月	疥癬、食中毒勉強会、排泄勉強会（製品説明・使用方法について）
7月	排泄勉強会（製品説明・使用方法について）、施設長勉強会（デイスカッション） 外部講師によるボディメカニクス（移動、移乗）と身体拘束
8月	褥瘡勉強会、防災訓練
9月	服薬勉強会、車椅子内蔵ベッドの使用方法の勉強会、外部講師による認知症研修 施設長勉強会
10月	感染症勉強会（緑膿菌）リスク勉強会（誤訳事故）、認知症研修 外部講師による認知症研修
11月	感染症勉強会（インフルエンザ、嘔吐処理、ガウンの使用法、フローチャート説明） ボディメカニクス研修（移乗、体位交換）
12月	虐待勉強会、防災
2月	身体拘束勉強会
3月	身体拘束勉強会、防災

④研修参加報告

介護技術	食事勉強会（2名） 褥瘡予防研修（2名） 感染症研修（1名） 緊急時対応法研修（2名） 身体拘束研修（1名） 感染セミナー（1名） 関東ブロック施設研究総会（2名） 認知症研修（1名）
権利擁護等	虐待研修（1名）、権利擁護・身体拘束研修（1名）
指導、育成研修	人事交流会（2名） 教育（中堅職員）研修（1名）

（3）医務サービス課

①健康管理活動報告

定期健康診断	年1回（平成30年4月1日～平成31年3月31日実施）
回 診	週1回（毎週金曜日 午後実施）
協力病院	新八千代病院
新規入所者	入所前情報提供依頼及び入所後の検診

定期健康診断	胸部レントゲン、心電図、尿検査、血液検査（血清・生化・血糖）
新規入所者	感染症検査、結核、W氏、HBC、HCV、MRSA その他、上記定期健康診断項目

外来受診者延べ人数

専 門 外 来	人 数	入 院
内 科	67名	27名
外 科	5名	0名
脳 外 科	7名	2名
整 形 外 科	37名	6名
精 神 科	27名	0名
神 経 内 科	0名	0名
婦 人 科	0名	0名
泌 尿 器 科	6名	0名
眼 科	6名	0名
皮 膚 科	35名	0名
耳 鼻 科	2名	0名
血 液 内 科	1名	0名
歯 科	12名	0名
合 計	205名	35名

受診先：新八千代病院 八千代病院 セコメディック病院 島田台病院 岡崎外科
 東京女子医大八千代医療センター むらた整形外科クリニック 最成病院
 加藤眼科 東京医科歯科大学附属病院

その他

訪問歯科（鈴木歯科医院）	延べ数 373名 受診
インフルエンザ予防注射実施	利用者 55名

②勉強会、委員会等の各種参加報告

委員会参加	会議参加	研修参加	勉強会	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症委員会 ・虐待防止委員会 ・防災委員会 ・褥瘡委員会 ・入所判定委員会 ・リスク委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・特養部門会議 ・ケースカンファレンス ・給食会議 ・入所判定会議 ・協力病院連携会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症研修会 ・スキンケア ・創傷処置 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入社員研修 ・感染症と予防策 ・スタンダードプロセーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査 ・終末期ケアへの家族説明 ・病院受診と連絡相談

③部門計画の報告

利用者の終末期について

前年度に比べ、さらに「積極的な延命は望まないが、改善する見込みがあれば入院・治療をしたい」という意向を示すご家族が増えました。それに伴い、病院受診・入退院が増加傾向にありました。感染症予防については、インフルエンザの集団感染が発生し、職員2名・利用者8名が発症、主治医や保健所の指導・助言を得ながら対応にあたりました。ノロウイルスによる感染性胃腸炎については今年度、施設内での発症はありませんでした。昨年度に引き続き褥瘡・骨折を含む外傷に関する受診件数が増加傾向にありました。

(4) 栄養管理課

【一日平均食数状況】

	特 養							小 計	ケアハウス	かがやき	小規模多機能	グループホーム	職員	その他	検食	合計
	主 食			副 食												
	御飯	全粥	ミキサー	常食	刻み	超刻み	ミキサー									
4月	111	87	22	43	85	50	42	220	37	16	10	18	30	2	9	342
5月	109	86	24	49	77	50	43	219	32	16	11	18	31	1	9	337
6月	103	84	27	51	70	50	43	214	35	16	9	17	34	2	9	336
7月	108	84	24	56	65	55	40	216	37	16	8	17	34	1	9	338
8月	118	82	21	61	62	62	36	221	37	17	8	16	35	1	9	344
9月	117	79	23	59	65	58	37	219	42	16	8	15	34	1	9	344
10月	115	78	24	61	64	57	35	217	42	16	8	17	33	2	9	344
11月	109	80	27	59	64	55	38	216	41	16	10	18	35	1	9	346
12月	109	86	23	56	64	62	36	218	41	16	9	16	34	1	9	344
1月	103	90	19	57	58	64	33	212	41	14	7	16	33	1	9	333
2月	96	90	12	49	54	69	26	198	37	14	8	16	34	1	9	317
3月	105	92	13	54	60	69	27	210	38	13	9	16	33	1	9	329
平均	109	85	22	55	66	58	36	215	38	16	9	17	33	1	9	338

平成30年度 給与栄養目標量

別紙 給与エネルギー目標量設定表より、1,250Kcal、1,450Kcal、1,650Kcalの3つを設定した。

その他の栄養素の算出

たんぱく質 ⇒ カロリーの16% それぞれ、50.0g、58.0g、66.0g

脂肪 ⇒ カロリーの23% それぞれ、32.0g、37.0g、42.0g

EER 推定エネルギー必要量

EAR 推定平均必要量

RDA 推奨量

AI 目安量

UR 耐容上限量

DG 目標量

70歳からの摂取目安量

	たんぱく質(g)		総脂質(g)		炭水化物(g)		食物繊維 (g/日)	カルシウム(mg)			鉄(mg)		
	EAR	RDA	DG下限	DG上限	DG下限	DG上限	DG	EAR	RDA	UL	EAR	RDA	UL
男性	50.0	60.0	26.7	50.0	150.0	315.0	19以上	600	700	2,500	6.0	7.0	50
女性	40.0	50.0	26.7	50.0	150.0	315.0	17以上	500	650	2,500	5.0	6.0	40

	ビタミンA (μgRE)			VD	ビタミンB1(mg)		ビタミンB2(mg)		ビタミンC (mg)		食塩相当量(g/日)	
	EAR	RDA	UL	AI	EAR	RDA	EAR	RDA	EAR	RDA	EAR	DG
男性	550	800	2,700	5.5	1.00	1.20	1.10	1.30	85	100	1.5	8.0g未満
女性	450	650	2,700	5.5	0.80	0.90	0.90	1.10	85	100	1.5	7.0g未満

	推定エネルギー 必要量	たんぱく質	脂質	炭水化物	食物繊維	Ca	Fe	VA	VD	VB1	VB2	VC	食塩
	Kcal	g	g	g	g	mg	mg	μg	μgRE	mg	mg	mg	g
常食Ⅰ	1,250	50.0	32.0	190.0	17.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満
常食Ⅱ	1,450	58.0	37.0	220.0	17.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満
常食Ⅲ	1,650	66.0	42.0	250.0	19.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満

【給食状況】

	熱量	蛋白質	脂肪	Ca	鉄	レチノール 当量	V. B1	V. B2	V. C	繊維総量	食塩
	Kcal	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g	g
4月	1,461	55.5	36.7	604	6.5	822	0.73	0.88	93	19.6	8.60
5月	1,481	57.7	36.6	606	6.3	692	0.75	0.83	100	19.0	8.50
6月	1,475	56.1	36.8	587	6.3	810	0.73	0.83	102	19.0	8.20
7月	1,483	56.1	38.1	607	6.5	978	0.81	0.93	101	18.6	8.50
8月	1,472	56.6	37.3	626	6.3	562	0.78	0.79	99	18.9	8.50
9月	1,470	55.3	37.4	601	6.0	535	0.78	0.81	92	18.8	8.50
10月	1,477	56.2	37.5	609	6.2	569	0.77	0.84	90	18.7	8.40
11月	1,476	55.0	37.1	593	6.1	502	0.77	0.75	89	19.3	8.50
12月	1,470	55.1	37.5	591	6.2	501	0.81	0.76	90	19.2	8.50
1月	1,466	55.5	35.3	578	6.4	750	0.79	0.82	95	18.9	8.60
2月	1,481	55.2	37.6	601	6.3	788	0.85	0.81	92	19.3	8.60
3月	1,480	55.3	36.6	625	6.3	740	0.86	0.83	98	20.0	8.70
合計	17,692	670	445	7,228	75	8,249	9.43	9.9	1,141	229	102
平均	1,474	55.8	37.0	602	6.3	687	0.79	0.82	95	19.1	8.51
目標量	1,450	58.0	37.0	600	6.0	650	0.90	1.10	100	17.0	8g未満

平均

	熱量	蛋白質	脂肪	Ca	鉄	レチノール 当量	V. B1	V. B2	V. C	繊維総 量	食塩
	Kcal	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g	g
上半期	1,474	56.2	37.2	605	6.3	733	0.76	0.85	98	19.0	8.5
下半期	1,475	55.4	36.9	600	6.3	642	0.81	0.80	92	19.2	8.6

【行事状況】

月	行 事	内 容
4 月	開設記念日 お楽しみおやつ 旬の食材 風呂の日	お弁当（赤飯、天ぷらの盛り合わせ、他） 練り切り、枝桜、桜舞うベイクドショコラ 玉ねぎを使用した、鶏の玉ねぎあんかけ 桜饅頭
5 月	八十八夜 子供の日 四季の食 旬の食材 風呂の日	お茶を使用したお菓子（狭山茶ラングドシヤ） 鯉のぼりオムライス、他 母の日（メープルパウンドケーキ） ほうじ茶豆乳プリン、枝豆ごはん 湯けむりたまご蒸しケーキ
6 月	入梅 今日は何の日 旬の食材 風呂の日 四季の食 お楽しみおやつ	梅しらすご飯、あじさいゼリー 麦とろの日 梅を使用した梅ゼリー さくらんぼケーキ そうめん、他 ソフトクリーム
7 月	四季の食 七夕 お楽しみおやつ 旬の食材 海の日	夏野菜カレー、冷やし中華、とうもろこしご飯 土用の丑の日（うなとろ丼） 七夕ちらし、他 朝顔市（練り切り朝顔）、塩きんつば 唐辛子（鶏肉の七味マヨネーズ焼き） 塩まんじゅう
8 月	東北夏祭り 山の日 四季の食 風呂の日	青森ねぶた祭（りんごケーキ）、秋田竿灯（りんご焼き）、 山形（ラ・フランスケーキ） 金の富士山まんじゅう 精進揚げ、他 バナナカステラ
9 月	敬老の日 お彼岸 四季の食 風呂の日	お祝い善（お赤飯、天ぷら盛り合わせ、他） 柔らかおはぎ きのこご飯、他 うさぎまんじゅう
10 月	四季の食 お楽しみおやつ 風呂の日	银杏ご飯、月見うどん、他 秋の収穫祭（コスモス、栗、さつま芋のお菓子） 白樺の並木
11 月	マグロ解体ショー	お刺身ご膳、他

	四季の食 お楽しみおやつ 風呂の日	栗ご飯、鶏ごぼうご飯、他 秋の収穫祭（栗、もみじのお菓子） 雷鳥の卵
12月	クリスマス 風呂の日 もちつき 年越しそば	ローストチキン、ケーキ、他 もりりんご 柔らか福餅お汁粉 かき揚げ蕎麦、他
1月	お正月 七草 鏡開き 風呂の日	赤飯、お節料理、雑煮風汁、他 七草がゆ お汁粉 パウンドケーキ
2月	節分 札幌雪まつり バレンタインデー リクエスト食	五目ちらし、つみれ汁、他 ハイカラしっとりクッキー チョコロールケーキ うな重、他
3月	ひな祭り ホワイトデー 四季の食 風呂の日	ちらし寿司、桜もち、他 チョコロールケーキ たけのこご飯、他 桜まんじゅう

平成30年度 在宅介護支援センター愛生苑の事業報告

1) 部門計画・取り組みの評価

部門方針「オールマイティーにケース対応ができるチーム力をつける」

①取り組み課題：医療連携に強くなる

取り組み内容：入退院時の医療連携の強化、通常時の医療連携の促進、医療知識の共有

【評価】

入院時3日以内に医療連携に努めた。連携方法の手段は問わず迅速性を重視したが、今後はできる限り入院先に足を運び、顔の見える関係性を作ることを目標とする。医療職との他職種協働の研修に参加し、病院の特色や個々の連携方法を共有した。これについては直ちに実践に活かしている。難病やターミナル期の利用者受け入れをする中で、改めて医療知識や予後予測の必要性を実感した。現状では、医療依存の高いケースは多くないが、積極的に受けられるように、医療知識の習得と医療連携の強化は継続課題である。

②取り組み課題：ケアマネジメントの総合的スキルアップ

取り組み内容：計画的な社内外の研修、事例検討スーパービジョンの実施、地域資源等の情報共有
他居宅事業所との連携強化、チーム内のコミュニケーション力の向上

【評価】

事例を用いたスーパービジョンを継続的に実施した。下半期は全ケアマネジャーが法定研修を受講した為に、課内で事例検討をする機会が確保できなかった。定期的に開催するように実施方法を改めていくことが必要である。また、今年度は初めて他法人の居宅介護支援事業所との合同研修を企画した。手探り状態での発進であり、十分に企画を煮詰めることができなかったと言う反省を踏まえて、次年度は地域の他居宅介護支援事業所と確実な連携を図っていく。

2) 月別利用状況報告

① 月別要介護契約登録数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約	6	5	3	1	5	3	5	3	4	5	1	3	44
契約終了	6	3	4	4	6	3	4	3	5	2	5	7	52
月末登録	136	138	137	134	133	133	134	134	133	131	132	128	
実績数	128	129	129	121	122	125	126	125	125	128	125	116	1499

年度末に人員交代。引継ぎのための数調整の結果、3月の登録者数と実績数が減った。前年と比べて年間167件増だが、契約終了数が新規を上回り、毎月の登録数は横ばいとなった。

*新規契約相談経由内訳

紹介元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分変更										1	1		2
地域包括	2	2	3		3	1	3	2	4	1		1	22
病 院		1				2		1					4
家族直接	2	2		1	1					1			7
事業所	1									1			2
他居宅	1									1		2	4
自法人													0
その他							2						2
合計	6	5	3	1	4	3	5	3	4	5	1	3	43

*その他の内訳：生活支援課1件、友人の紹介1件

地域包括内訳：和田7、高津緑が丘7、村上3、八千代台3、阿蘇睦2

前年度より年間24件減。そのうち12件が地域包括からの依頼が減った結果となったが、受け入れ側の事情によるものであり、単なる紹介率の低下とはみなさない。一方で、自法人からの紹介は前年6件に対し実績なしの結果となった。

*契約終了事由内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分変更	1						2	2				1	6
死 亡	2		1		2	2	1	1			2	1	12
長期入院					2					2			4
特養入所	2	1		1	2					1		2	9
老健入所				2		1	1		1	1	1		7
グループホーム入所													0
民間施設入所		1		1					1				3
転居									1				1
居宅変更		1									2	3	6
保険利用なし	1		3		1								4
合計	6	3	4	4	6	3	4	3	5	2	5	7	52

前年度と比較して、内訳に大きな変化はないが、老人保健施設入所による契約終了者が7倍となった。入退院後に在宅復帰せずに老人保健施設に移り、さらに長期入所する方が増えた。

* 要介護状態区分別内訳(実績数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	46	49	46	46	46	45	46	41	38	38	38	32	511
要介護2	38	36	35	33	33	35	38	37	40	43	38	37	443
要介護3	21	20	24	19	22	25	22	24	26	26	27	26	282
要介護4	14	14	13	13	11	10	10	12	10	11	12	12	142
要介護5	9	10	11	10	10	10	10	11	11	10	10	9	121
合計	128	129	129	121	122	125	126	125	125	128	125	116	1499

前年度比の全体割合：要介護1、2の軽度者 67.4%⇒66.3%、3以上の中重度者 32.6%⇒36.3%。

ここ数年来、比率の大きな変化はない。

② 認定調査実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
八千代市	3	2				2	2			4	4		17
千葉市	1												1
合計	4	2	0	0	0	2	2	0	0	4	4	0	18

要介護の新規確保が重点課題であったため、認定調査を控えた。

③ 苦情受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
苦情件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

日常的にすぐに対応できる範囲の相談はあったが、苦情とまでは言えない。

④ 介護予防支援・ケアマネジメント一部委託業務地域包括別委託状況(実績のみ)

地域包括	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大和田	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	0	0	12
高津緑が丘	5	5	6	6	6	6	6	7	8	7	7	8	77
八千代台	3	3	3	3	3	2	2	2	1	1	1	1	25
村上	5	5	5	5	5	6	6	7	7	7	7	6	71
阿蘇睦	2	2	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	40
市外	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	16
合計	18	18	20	20	19	19	21	23	22	21	20	20	241

市外は、福島市、京都市。いずれも八千代市内の居住者。

⑤ 研修参加状況

* 社外研修参加状況

研修内容	主催	実施日	参加者
H30 年度介護報酬改定	老施協	4/16	1
圏域ケアマネジャー会議	阿蘇睦地域包括	5/1	3
福祉用具の知識	他居宅合同（美香苑、コープ みらい）	6/11	4
八千代市行政からの説明	やちよケアマネネット	6/29	4
地域ケア会議	村上地域包括	8/31	2
介護支援専門員専門研修Ⅱ	千葉県介護支援専門員協議会	5/25-8/8	2
介護支援専門員専門研修Ⅰ	千葉県介護支援専門員協議会	6/7-9/29	1
主任介護支援専門員更新研修	千葉県介護支援専門員協議会	6/22-8/28	1
関東ブロック総会	老施協	9/11	1
医療介護連携 ALS 患者から伝えたいこと	八千代会	9/14	2
事例検討会	他居宅合同（美香苑、コープ みらい）	10/13	4
高齢者の食事について	他居宅合同（美香苑、コープ みらい）	10/15	4
管理者のための運営基準解説	日本単独居宅介護支援事業所 協会	10/30	1
MSW とケアマネジャーのグループワーク	やちよケアマネネット	11/27	4
日本地域医療連携システム学会 in 八千代	日本地域医療連携システム学 会	12/24	1
認定調査員現任研修	千葉県健康福祉部	1/10	2
入退院医療連携推進セミナー	八千代市健康福祉部	1/31	1
介護支援専門員協議会等代表連絡会	千葉県介護支援専門員協議会	2/2	1
民生委員との合同研修	民生委員高齢者部会	2/18	2
主任介護支援専門員ケアマネジメント研修会	八千代市健康福祉部	2/28	2
ケアプラン作成	やちよケアマネネット	3/19	3

* 社内会議・研修(勤務時間内)

- ・ 週 1 回定例相会議(30 分)福祉情報共有・担当ケースの共有と意見交換
- ・ 事例を用いたスーパービジョン実践 (1 ケース 90~120 分)
- ・ 月 1 回定例(120 分)月例会議及び課内研修

⑥地域活動

- ・ やちよケアマネネットワーク運営に参加（研修企画、市場調査等）

平成 30 年度 ケアハウスガーデンライフ八千代の事業報告

1. 職員数 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

職種	人数	常勤/非常勤
施設長	1 名	常勤 1 名 (兼務)
生活相談員	1 名	常勤 1 名
寮母 (介護職員)	4 名	常勤 2 名/非常勤 2 名

2. 入居者介護認定状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

・定員 15 名 入居者数 15 名 (男性 6 名 女性 9 名)

介護認定	男性	女性	合計
未申請 (自立)	1 名	3 名	4 名
要支援 1	1 名	2 名	3 名
要支援 2	1 名	1 名	2 名
要介護 1	3 名	2 名	5 名
要介護 2	0 名	1 名	1 名
要介護 3	0 名	0 名	0 名
要介護 4	0 名	0 名	0 名
要介護 5	0 名	0 名	0 名
合計	6 名	9 名	15 名

3. サービス内容 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

①月別送迎支援状況 (延べ人数)

上半期		下半期	
4 月	9 名	10 月	18 名
5 月	15 名	11 月	13 名
6 月	7 名	12 月	16 名
7 月	13 名	1 月	20 名
8 月	10 名	2 月	15 名
9 月	15 名	3 月	17 名
小計	69 名	小計	99 名
		年間合計	168 名

②受診付き添い介助

自立	6名
付き添い介助	9名

④クラブ活動参加状況

内容	担当	実施回数	平均参加者数
コーラス	ボランティア1名	月2回	3.2名
詩吟	ボランティア1名	月1回	2.0名
リズム体操	職員1名	毎週1回	6.5名
音読	職員1名	毎週1回	2.2名
工作	職員1名	毎月1回	4.1名
フラワーアレンジメント	職員1名	毎月1回	5.1名
脳若ステーション	職員1名	月2回	2.5名

⑤行事・余暇活動状況

月	活動内容	参加者数
4月	【外食】・焼肉むさし	8名
5月	【外食】・はま寿司	7名
	【外出】・こいのぼり見学	8名
6月	【外食】・ホテルグリーンタワー幕張	6名
	【外出】・千葉公園（大賀蓮見物）	7名
7月	【外食】・かつ波奈	6名
	・七夕会	8名
8月	【外食】・一幸	6名
	・愛生苑夏祭り	13名
	・東葉サマーコンサート	3名
9月	【外出】・ユアエルム	6名
	・敬老会	8名
10月	【外出】・サーカス見学	5名
	【外食】・焼肉むさし	8名
	・秋の運動会	10名
11月	【一泊旅行】・木更津方面（ホテル三日月）	5名

12月	【外食】・一幸	8名
	・クリスマス会	15名
	・餅つき	5名
1月	【外食】・ホテルグリーンタワー幕張	5名
	【外出】・初詣（飯綱神社）	8名
	・新年会	15名
2月	【外食】・スシロー	7名
	・豆まき	3名
3月	【外食】・凱旋門	9名
	ひな祭り会	8名
	【外出】・お花見	8名
	お花見弁当	13名

4. 苦情受付報告

- ・515号室の湊芳郎様より「夜間にキッチン付近からカタカタ音がする」と相談あり。
調べると516号室のトイレトーパーを巻き取る際の音が壁を伝わり聞こえていた。
516号室のペーパーホルダーと壁の間にクッション材を入れ振動音を緩和した。
- ・「浴槽に脂が浮いている時がある」との事で脂分を吸い取る装置を使用する事にした。
- ・その他は大きな苦情はありませんでした。

5. 地域交流・慰問

団体名	日付	参加人数	内容
ボランティア団体	8月	3名	サマーコンサート
八千代相撲甚句協会	12月	5名	餅つき・相撲甚句

6. 入居者状況（平成31年3月31日現在）

①出身地

出身地	男性	女性	計
八千代市	6名	5名	11名
茂原市	0名	1名	1名
千葉市	0名	1名	1名
渋谷区	0名	1名	1名
日光市	0名	1名	1名
計	6名	9名	15名

②入居前状況

家族と同居	1名
1人住まい（夫婦のみ）	14名

③月別入退所状況（平成30年度）

	入所	退所	退所の理由				月初日人数
			死亡	入院	介護施設	その他	
4月							14名
5月		2名			2名		14名
6月	2名	1名		1名			12名
7月							13名
8月							13名
9月	2名						13名
10月							15名
11月							15名
12月							15名
1月							15名
2月		1名			1名		15名
3月	1名						14名
計	5名	4名	0名	1名	3名	0名	—

④年齢構成状況

年齢区分	男性	女性	合計
60歳未満	0名	0名	0名
60～64	0名	0名	0名
65～69	0名	0名	0名
70～74	0名	0名	0名
75～80	2名	0名	2名
81～84	0名	3名	3名
85～90	3名	5名	8名
90歳以上	1名	1名	2名
合計	6名	9名	15名

- ・最高年齢 男性 91歳 女性 96歳
- ・最低年齢 男性 79歳 女性 82歳
- ・平均年齢 男性 84.8歳 女性 86.9歳 総合平均年齢 86.1歳

⑤ADL等の状況

在宅サービス利用者	訪問介護	6名
	通所介護	5名
	訪問歯科	2名
移動（一部重複）	自立	10名
	杖使用	4名
	シルバーカー	1名
入浴	自立	7名
	一部介助（訪問・通所介護）	8名
着脱衣	自立	15名
	一部介助	0名
食事	ご飯と常食にて自立	12名
	ご飯ときざみにて自立	1名
	お粥ときざみにて自立	2名
洗面	自立	15名
金銭管理	自立	7名
	一部介助（銀行関係）	6名
	家族管理	2名
居室清掃	自立	11名
	介助（ヘルパー利用等）	4名
洗濯	自立	11名
	介助（ヘルパー利用等）	4名
買い物	自立	9名
	一部介助（家族、職員付き添い）	6名
	不可	0名
通院（一部重複）	自立	5名
	送迎介助（職員）	1名
	送迎・付き添い介助（職員）	7名
服薬管理	自立	6名
	一部介助	9名

平成 30 年度 愛生苑デイサービスかがやきの事業報告

活動・外出報告

4 月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・絵手紙・折り紙・民謡・音楽・尺八・カラオケ・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	お茶会
	外出行事	お花見外出・
5 月	施設内活動	手芸・工作・民謡・書き方・壁面・絵手紙・習字・ゲーム・音楽・尺八・折り紙・体操・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	行事企画 名札作り
	外出行事	鯉のぼり外出
6 月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・絵手紙・ゲーム・民謡・音楽・手話・脳トレ体操・折り紙・おとなの学校
	行事企画	お茶会・腹話術
	外出行事	紫陽花外出
7 月	施設内活動	手芸・工作・民謡・書き方・壁面・絵手紙・習字・ゲーム・音楽・尺八・折り紙・カラオケ・おとなの学校
	行事企画	お茶会
	外出行事	無し
8 月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・ゲーム・民謡・音楽・脳トレ・カラオケ・折り紙・おとなの学校
	外出行事	梨狩り外出・
9 月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・ゲーム・民謡・音楽・尺八・折り紙・おとなの学校・脳若ステーション
	外出行事	梨狩り外出
10 月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・脳トレ・民謡・音楽・折り紙・ゲーム・音楽・おとなの学校・脳若ステーション
	行事企画	お茶会・阿波踊り・紙芝居
	外出行事	無し
11 月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・ゲーム・民謡・音楽・脳トレ・カラオケ・折り紙・おとなの学校・脳若ステーション
	行事企画	かがやき祭り
	外出行事	買い物外出

12月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・ゲーム・音楽・尺八・折り紙・カラオケ・脳トレ・おとなの学校・脳若ステーション
	行事企画	クリスマス会・餅つき・お茶会
1月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・ゲーム・民謡・音楽・脳トレ・カラオケ・折り紙・音楽体操・おとなの学校・脳若ステーション
	行事企画	お茶会・紙芝居
	外出行事	初詣
2月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・脳トレ・民謡・音楽・折り紙・体操・尺八・おとなの学校・脳若ステーション
	行事企画	豆まき
	外出行事	無し
3月	施設内活動	手芸・工作・習字・書き方・壁面・ゲーム・民謡・音楽・脳トレ・カラオケ・尺八・おとなの学校・脳若ステーション
	行事企画	神楽踊り
	外出行事	昼食外出

年間会議

4月	かがやき会議	10月	かがやき会議
5月	かがやき会議	11月	かがやき会議
6月	かがやき会議	12月	かがやき会議
7月	かがやき会議	1月	かがやき会議
8月	かがやき会議	2月	かがやき会議
9月	かがやき会議	3月	かがやき会議

委員会活動・勉強会

6月	感染症委員会	食中毒について
11月	感染症委員会	ノロウイルス・インフルエンザ予防と消毒方法を確認

消防避難訓練

5月	平成30年7月20日（金）14時～14時30分 職員5名・ご利用者名合20計25名で行った。 避難訓練（調理場から出火の想定で、ご利用者の避難誘導を行った。） 通報訓練（119番通報） 消火訓練（水消火器を使い初期消火訓練を行った。）
12月	平成30年12月15日（土）14時～14時30分 職員6名・ご利用者15名合計21名で行った。 避難訓練（調理場から出火の想定で、ご利用者の避難誘導を行った。） 通報訓練（119番通報） 消火訓練（水消火器を使い初期消火訓練を行った。）

実人数・延べ人数実績

月	実人数	延人数	月	実人数	延人数
4月	56名	497	10月	58名	482
5月	59名	522	11月	57名	475
6月	61名	503	12月	58名	490
7月	62名	516	1月	57名	425
8月	62名	516	2月	57名	375
9月	62名	469	3月	55名	434
合計				5,704	

総評

- 活動については、新しく「脳若ステーション」という活動を始めた。iPadを使用したゲーム感覚で行える活動で、短期記憶と遅延記憶の強化に努めた。
- 感染症委員会を行い食中毒予防のために、食事前に手洗だけでなくアルコールでの消毒を始めた。インフルエンザ予防の会議も行ったがインフルエンザで休みになる御利用者が多くでてしまった。
- 消防訓練は、職員だけでなくご利用者も一緒に消火訓練を行った。水消火器を使い実際に使い方の手順を確認した。

平成 30 年度 グループホームなごみの事業報告

1. 事業所名

グループホームなごみ（認知症対応型共同生活介護）

2. 職員数（年度末時点）

管理者 常勤職員 1名

計画作成担当者 常勤職員（兼務） 2名

介護職員 常勤職員（専従） 8名

常勤職員（兼務） 2名

非常勤職員 6名

3. 年間利用実績

月別要介護度別実人数

要介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	11
介2	10	11	11	12	12	12	10	10	10	9	8	7	122
介3	6	5	5	4	4	5	3	3	4	5	5	6	55
介4	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	7
介5	1	1	1	1	1	1	3	3	3	3	2	2	22
合計	18	18	18	18	18	19	18	18	18	19	17	18	217

※9月、1月は月途中で入れ替えがあり19名。

男女別人数

要介護度	合計人数	男	女
要介護1	11	3	8
要介護2	122	45	77
要介護3	55	9	46
要介護4	7	0	7
要介護5	22	12	10
合計	217	69	148

【年間平均要介護度】	男性	2.60	女性	2.55
	合計	2.57		
【平均年齢】	男性	90.3歳	女性	89.0歳
	合計	89.4歳		

4. 会議・勉強会実施内容

6月11日	救急対応の確認、企画書書式、希望を叶えるレク計画
7月9日	食数表の記入考え方、RUN伴計画、ユニット間のコミュニケーション
8月13日	夏祭り・RUN伴の進捗、朝礼実施に向けた体制づくり
9月10日	入院者の状況と復帰に向けた体制づくり、特養移行の優先度
10月9日	実地指導報告、家族会内容、理念作成について
11月12日	家族会最終確認、身体拘束廃止に向けた勉強会
12月10日	電話対応、理念作り、事故検証
1月7日	緊急時対応について、次年度予算希望
2月4日	理念作成
3月11日	人事異動について、理念完成、夜勤帯巡視業務の内容、 身体拘束廃止に向けた勉強会

5. 実習生受け入れ

平成30年11月6日 ～ 11月28日

大原医療秘書福祉専門学校2名受け入れ

実働15日間ずつ（小規模多機能と合同）

《実習内容》

コミュニケーション、入浴・排泄介助・レクリエーション企画実行

6. 運営推進会議

会議構成 ～民生児童委員、高津緑が丘地域包括支援センター、他施設管理者
八千代市介護保険相談員、ご家族代表、愛生会職員

【開催状況】

第一回	5月17日	利用状況報告、認知症周知の取り組みについて
第二回	7月20日	利用状況報告、災害パートナーシップ協定締結について
第三回	9月20日	利用状況報告、GH外部評価報告、 家族からの意見（エレベータの暗証番号教えて欲しい） 審議
第四回	11月20日	利用状況報告、町内会清掃参加について
第五回	1月17日	利用状況報告、投薬事故増加について他施設の対策について
第六回	3月14日	利用状況報告、認知症専門医受診の状況や効果について

7. 家族会実施

第一回 平成30年6月2日 参加者数 17家族24名

【内容】希望を叶えるレクの実施、身体拘束廃止取組み、緊急連絡先依頼

第二回 平成30年11月24日 参加者数 16家族22名

【内容】RUN伴報告、口腔ケア加算取得予定、

8. レク活動実施状況

4月 お花見

5月 こいのぼり見学、町内会清掃参加

6月 京成バラ園外出、家族会（昼食会）

8月 夏祭り

9月 敬老会、RUN伴参加

11月 家族会（昼食会）

12月 クリスマス会、もちつき

1月 初詣

2月 節分豆まき

3月 お茶会

9. 考察

- ・年間を通じ高い入居率を維持することは出来た。待機者も一時は10名を超える状況になったが、下半期より待機者が既に他施設に入っているケースが増加している。グループホーム施設だけで見れば施設数は変わらないが、サービス付き高齢者住宅などを含め選択肢が増えている中で、申し込みから入居までの期間が短くなっている様子。常に待機者確保と状況確認が必要になっている。
- ・市内のグループホーム同士の連携が密になっており、緊急で施設入居を希望している方を紹介し合うなど、施設側の利益以外の役割も果たせるようになってきている。
- ・レクリエーション関係では外出行事や、ご家族と一緒に楽しんで頂く機会が増えている。誕生日会などにもご家族を招待することで、様子をしっかりと見て頂いたり満足感の高まりに繋がっている。
- ・入居者の重度化は進行しており、現状の要介護度と合わないケースが多く、変更申請も3件行った。日常業務も身体介助・医療的処置にかかる時間が増えており、レクリエーションやリハビリが手薄になってしまうことが懸念されるので改善を図っていく。

平成 30 年度 小規模多機能居宅介護なごみの事業報告

1. 事業所名

小規模多機能居宅介護なごみ

2. 職員数（平成 31 年 3 月末日時点）

管理者	常勤職員（兼務）	1 名	
計画作成担当者	常勤職員（兼務）	1 名	
介護職員	常勤職員（専従）	4 名	非常勤職員（専従） 介護 7 名
看護職員	非常勤職員	2 名	
運転手	非常勤職員	2 名	

3. 年間利用実績

月別要介護度別登録人数

要介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支1	3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	17
支2	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	14
介1	6	6	4	5	5	6	6	6	6	5	6	7	68
介2	6	5	5	4	4	3	4	5	4	5	3	5	53
介3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21
介4	3	2	2	2	2	3	3	3	3	2	1	1	27
介5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
合計	21	19	16	16	16	16	17	18	17	16	15	18	210

年間実人数合計のうち、男女別人数

要介護度	合計人数	男	女
要支援1	3名	2名	1名
要支援2	2名	1名	1名
要介護1	11名	6名	5名
要介護2	7名	1名	6名
要介護3	4名	2名	2名
要介護4	3名	1名	2名
要介護5	1名	1名	0名
合計	31名	14名	17名

月別サービス別延べ利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	295	301	256	244	243	242	269	299	269	218	227	282	3145
宿泊	25	26	26	13	20	24	33	49	46	16	29	45	352
訪問	295	308	264	268	246	250	293	270	223	212	215	231	3075

【要介護度別 サービス別利用状況】

★要支援1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	28	31	24	12	12	13	10	11	13	13	11	13	191
宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	9	13	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25

★要支援2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	11	15	13	20	20	12	9	14	12	10	12	13	161
宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	1	5	0	11	12	3	16	4	0	0	0	0	52

★要介護1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	77	83	56	71	62	64	80	75	77	72	78	119	914
宿泊	4	1	1	0	2	3	2	6	6	4	4	20	53
訪問	78	86	65	90	72	81	95	99	99	107	111	140	1123

★要介護2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	105	97	93	65	69	52	63	82	61	52	45	64	848
宿泊	19	23	23	11	13	12	21	17	13	5	3	12	172
訪問	124	119	119	84	80	48	44	54	37	36	6	17	768

★要介護3

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	29	30	29	31	31	31	32	35	32	32	42	32	386
宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	12	6	21
訪問	33	37	33	35	37	36	49	48	37	41	77	53	516

★要介護4

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	45	45	41	45	49	70	75	82	74	39	24	27	616
宿泊	2	2	2	2	5	9	10	26	24	7	6	7	102
訪問	50	48	44	48	45	82	89	65	50	28	21	19	589

★要介護5

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	14	29
宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

4. 実習生受け入れ（グループホームと合同）

平成30年11月6日～11月26日

大原医療秘書福祉専門学校2名受け入れ 実働15日間

5. 運営推進会議活動状況

会議構成～地区自治会長、民生児童委員、高津緑が丘地域包括支援センター、八千代市介護相談員、ご家族代表、愛生会職員

【開催状況】

第1回～5月17日 利用状況報告、空室への対応・29年度活動報告

第2回～7月19日 利用状況報告、不適切な対応の報告・地域行事の情報共有

第3回～9月20日 利用状況報告、外部評価報告・

第4回～11月20日 利用状況報告

第5回～1月17日 利用状況報告、自己評価結果報告・インフルエンザ対応報告

第6回～3月14日 利用状況報告、防災訓練について

6. 地域交流事業

平成30年9月6日 RUN伴

7. レク活動実施状況

上半期		下半期	
4月	お花見・お散歩	12月	クリスマス会・もちつき
5月	ドライブ・お散歩	1月	初詣
8月	夏祭り	2月	節分豆まき
9月	敬老会	3月	お茶会

平成 30 年度 八千代市村上地域包括支援センターの事業報告

1. 総合相談業務

相談件数・内訳

区分	項目	新規受付件数	対応延べ件数	
相談対応方法	電話	302	2490	
	来所	211	557	
	訪問	6	446	
	その他(FAX・メール)	2	29	
	合計	521	3522	
相談内容	権利擁護	消費者被害に関する相談	3	14
		成年後見制度に関する相談	3	23
		日常生活自立支援事業に関する相談	2	53
	介護	介護に関する相談	121	527
		介護保険制度に関する相談	200	741
		施設入所に関する相談	30	110
		福祉サービスに関する相談	47	220
	ケアマネ支援	ケースに関する相談	23	565
		地域資源に関する相談	4	18
		経済的相談	27	288
		介護予防事業に関する相談	12	46
		医療・健康に関する相談	64	617
		認知症に関する相談	59	452
		書類説明・管理に関する相談	15	64
		安否・状況確認に関する相談	27	219
		地域生活に関する相談	23	113
		その他	78	619
		合計	738	4689
	相談者	本人	146	1199
		家族	191	721
成年後見人		0	2	
民生委員		12	56	
近隣住民・知人		23	62	
商店・民間サービス業者・ボランティア(介護保険外)		20	165	
住宅の管理者・大家・管理会社		16	67	
介護支援専門員		28	618	
介護保険サービス事業者		7	106	
医療関係者		38	308	
行政機関		21	190	
警察		12	13	
消防		0	0	
その他		7	15	
		合計	521	3522

※受付件数は30年度での新規受付の実数。

※継続延べ件数は当センターからの連絡等も1件と計上。

2. 権利擁護業務

①高齢者虐待防止・権利擁護に対する取り組み

月日	実施主体	事項	目的			
			包括PR	虐待防止	認知症サポーター	他機関連携
30年4月～ 31年3月	民生児童委員連絡協議会	村上地区・村上東地区定例会の参加(村上:7回、村上東:7回)	○	○		○
30年4月～ 31年3月	村上支会	定例会(7回)	○	○		○
30年4月～ 31年3月	上高野原支会	定例会(6回)	○	○		○
4月12日	村上地区民生児童委員連絡協議会	地域包括支援センターについて講義	○	○		○
5月9日	シルバー人材センター婦人会	認知症サポーター養成講座(大和田・村上地域包括支援センター共催)	○	○	○	○
8月17日	村上地域包括支援センター	地域包括支援センターの周知(クリエイト村上団地店)	○	○		○
10月16日 3月22日	村上地域包括支援センター	地域包括支援センターの周知(メガドンキホーテ)	○	○		○
10月28日	上高野原支会	100円サロン 高齢者虐待防止講演	○	○		
11月21日	村上公民館	村上いきいき元気教室	○	○		

②高齢者虐待防止法に基づく新規通報数・対応数

高齢者虐待対応	新規通報件数	対応延べ件数
	4	163
	上記のうち前年度以前通報ケースの対応件数	93

3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域支援ネットワークの構築・強化(※生活支援体制整備事業の活動なども含む)

月日	実施主体	事項	目的(該当の項目に○を付けてください)						参加人数・効果
			包括PR	虐待防止	認知症サポーター	他機関連携	地域ケア会議	その他(内容記入)	
30年4月～ 31年3月	民生児童委員連絡協議会	村上地区・村上東地区定例会の参加(村上:7回、村上東:7回)	○	○		○			民生児童委員との顔の見える関係作りを行う。個別ケースの発掘、継続支援についても多大なるご協力を頂いている。地域課題の抽出にもつながっている。
30年4月～ 31年3月	村上支会	定例会(7回)	○	○		○			福祉委員を通じ、地域住民に対し社会資源としての情報提供を行なっている。また、福祉委員を通してのケース相談も頂いている。地域課題の抽出にもつながっている。

30年4月～ 31年3月	上高野原支会	定例会(6回)	0	0	0		福祉委員を通し、地域住民に対し社会資源としての情報提供を行なっている。また、福祉委員を通してのケース相談も頂いている。地域課題の抽出にもつながっている。
5月12日	上高野原支会	地域懇談会	0		0	自治会等、地域団体との関係作り。 地域連携体制の構築。	自治会等に対し、センター周知が行えた。 各自治会が感じていた課題についても把握する事ができた。
5月18日 8月23日 10月19日	グループホーム美乃里	運営推進会議の出席			0	施設の健全な運営、入居者の快適で充実した生活の実現。	グループホームの活動内容や取り組み、現状を把握した。
5月31日 7月26日 9月27日 11月29日	小規模多機能ホーム アザリ アガーデン	運営推進会議の出席			0	事業所の健全な運営、利用者の充実した生活の実現。	事業所の年間計画や活動内容、取り組み、現状を把握した。 また、地域活動についても協議し、地域の向上のため相互協力関係も築けている。
4月12日	村上地区民生児童委員連絡協議会	地域包括支援センターについて講義	0	0	0	地域包括支援センターの役割等、相談事例を用いて、説明を行う。	参加者21名。民生委員との協働事例を紹介することにより、具体的な連携について共有できた。今後も協働して取り組んでいくことの周知につながった。
5月9日	シルバー人材センター婦人部会	認知症サポーター養成講座 (大和田・村上地域包括支援センター共催)	0	0	0		認知症高齢者との接し方を実演を交えて、講演。「講義だけでなく、実演を見た事で、非常に参考になった」との声もあり、認知症支援に対する理解を深めることが出来た。
5月24日	村上中央支会	モーニングサロン	0		0	サロンの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知。 関係者との関係づくり、連携強化。	住民に対し、より具体的に情報の提供が行えるようになり、地域の介護予防の向上につながる。参加者や関係者に、より身近な相談窓口と認識してもらえたと実感した。
5月21日	村上地域包括支援センター	地域包括支援センターの周知 (セブイレブNUR村上上団地店)	0		0		高齢化率の高い村上団地内の商店にセンター機能の周知を行うことにより、高齢者支援のネットワーク強化に繋がった。周知後、店舗で動けなくなってしまった高齢者について相談が入り、支援につながった。
5月28日	ふれあいサロン村上	ふれあいサロン村上	0		0	サロンの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知。 関係者との関係づくり、連携強化。	住民に対し、より具体的に情報の提供が行えるようになり、地域の介護予防の向上につながる。参加者や関係者に、より身近な相談窓口と認識してもらえたと実感した。
6月11日	社会福祉協議会	福祉教育 村上小学校5年生対象	0		0	村上小学校での福祉教育の場での、補助、車椅子に関しての講評を行う。	福祉教育により、小学生の高齢者に対する理解が図れた。また、支会福祉委員との関係の強化にも繋がった。
6月13日	村上中央支会	転倒予防教室	0		0	取り組みの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知。 関係者との関係づくり、連携強化。	住民に対し、より具体的に情報の提供が行えるようになり、地域の介護予防の向上につながる。参加者や関係者に、より身近な相談窓口と認識してもらえたと実感した。
6月14日	年金村上サロン	年金村上サロン (元気体操)	0		0	サロンの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知。 関係者との関係づくり、連携強化。	住民に対し、より具体的に情報の提供が行えるようになり、地域の介護予防の向上につながる。参加者や関係者に、より身近な相談窓口と認識してもらえたと実感した。
6月21日	年金村上サロン	年金村上サロン (元気体操)	0		0	生活支援体制整備事業に関するアンケート実施。	アンケートを通し、地域住民の活動意欲があることが分かった。今後の地域活動の担い手として活躍いただくなど、方策を考えていく資料となった。
7月2日	けやきの会	けやきの会 (元気体操)	0		0	取り組み内容、空き状況の把握。 関係強化。生活支援体制整備事業に関するアンケート実施。	アンケートを通し、地域住民の活動意欲があることが分かった。今後の地域活動の担い手として活躍いただくなど、方策を考えていく資料となった。
7月5日	自彊術	自彊術	0		0	取り組みの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知。 関係者との関係づくり、連携強化。	住民に対し、より具体的に情報の提供が行えるようになり、地域の介護予防の向上につながる。参加者や関係者に、より身近な相談窓口と認識してもらえたと実感した。

7月10日	ローズマリー	ローズマリー (元気体操)	0				0	取り組みの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知。 関係者との関係づくり、連携強化。	住民に対し、より具体的に情報の提供が行えるようになり、地域の介護予防の向上につながる。参加者や関係者に、より身近な相談窓口と認識してもらえたと実感した。
7月28日	興寿会 わいわいサロン	転倒予防について講義	0				0	サロン内容の把握、関係の強化。 転倒して介護状態にならない為の講義および運動の提供。	参加者18名、転倒予防喚起が行えた。センター機能の周知も継続的に行うことにより、連携強化にも繋がっている。
7月29日	村上団地商店街振興会	村上団地夏祭り	0				0	暑中見舞いイガキのコーナーを担当。 地域包括支援センターの役割周知。	参加児童14名。祖父母との交流の促進を目的として実施。日頃、アプローチが難しい若い世代へ向けてセンターの周知が行えた。
8月17日	村上地域包括支援センター	地域包括支援センターの周知 (クリエイト村上団地店)	0	0			0		高齢化率の高い村上団地内の商店にセンター機能の周知を行うことにより、高齢者支援のネットワーク強化に繋がった。
9月26日	オパールの会水曜日	オパールの会水曜日 (元気体操)	0				0	取り組みの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知。 関係者との関係づくり、連携強化。	住民に対し、より具体的に情報の提供が行えるようになり、地域の介護予防の向上につながる。参加者や関係者に、より身近な相談窓口と認識してもらえたと実感した。
9月28日	村上支会	世代間交流会	0					地域包括支援センターについての説明と案内。	総勢98名に対し、センター機能について周知。参加者の声から、より身近な機関として認識してもらえたと実感した。福祉委員との関係強化にも繋がっている。
10月1日	バンドの会	バンドの会 (元気体操)	0				0	取り組みの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知。 関係者との関係づくり、連携強化。	住民に対し、より具体的に情報の提供が行えるようになり、地域の介護予防の向上につながる。参加者や関係者に、より身近な相談窓口と認識してもらえたと実感した。
10月9日	下市場元気体操会	下市場元気体操会	0				0	取り組みの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知。 関係者との関係づくり、連携強化。	住民に対し、より具体的に情報の提供が行えるようになり、地域の介護予防の向上につながる。参加者や関係者に、より身近な相談窓口と認識してもらえたと実感した。
10月16日	村上地域包括支援センター	地域包括支援センターの周知 (メガドンキホーテ)	0	0			0		高齢化率の高い村上団地周辺の商店にセンター機能の周知を行うことにより、高齢者支援のネットワーク強化に繋がった。
10月28日	村上団地商店街振興会村上中央支会	世代間交流会	0				0	バナノニック、美香苑、はなみずき、薬師薬局、萱田中学校生徒、社会福祉協議会と連携、福祉ブースを担当。	高齢者疑似体験などを通し、日頃、アプローチが難しい若い世代へ向けて、高齢者への理解促進が行えた。多機関連携を図り、地域への福祉的な取り組み周知が行えた。
10月28日	上高野原支会	100円サロン 高齢者虐待防止講演	0	0					参加者20名程度(主催者含む)。虐待防止に対する知識の向上と地域で高齢者虐待を未然に防いでいく意識の向上につながった。
10月31日	メガドンキホーテ	メガドンキホーテ (元気体操)					0	取り組みの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知。 関係者との関係づくり、連携強化。	住民に対し、より具体的に情報の提供が行えるようになり、地域の介護予防の向上につながる。参加者や関係者に、より身近な相談窓口と認識してもらえたと実感した。
11月13日	社会福祉協議会	福祉教育 村上北小学校4年生対象	0				0	村上北小学校での福祉教育の場での、補助、車椅子に関する講義を行う。	福祉教育により、小学生の高齢者に対する理解が図れた。また、支会福祉委員との関係の強化にも繋がった。
11月21日	村上公民館	村上いきいき元気教室	0	0				地域包括支援センターについての説明	16名参加。講義後、相談や質問も多くなり、参加者の地域包括支援センターへの役割理解が深まったと実感。
12月4日	イトヨーカドー	イトヨーカドー (元気体操)	0				0	取り組みの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知。 関係者との関係づくり、連携強化。	住民に対し、より具体的に情報の提供が行えるようになり、地域の介護予防の向上につながる。参加者や関係者に、より身近な相談窓口と認識してもらえたと実感した。

12月14日	いちよりの会	いちよりの会 (元気体操)	0				0	取り組みの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知、関係者との関係づくり、連携強化。	住民に対し、より具体的に情報の提供が行えるようになり、地域の介護予防の向上につながる。参加者や関係者に、より身近な相談窓口と認識してもらえた実感した。
12月23日	村上中央商店街振興会 村上中央支会	歳末たすけあい餅つき大会					0	地域住民、関係者との関係強化。	餅つき大会の手伝いを通して、地域住民や関係者との関係づくりの強化が図れた。
1月14日	チームレクセル	チームレクセル (元気体操)	0				0	取り組みの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知、関係者との関係づくり、連携強化。	住民に対し、より具体的に情報の提供が行えるようになり、地域の介護予防の向上につながる。参加者や関係者に、より身近な相談窓口と認識してもらえた実感した。
2月24日	村上支会	100円サロン	0				0	転倒予防と認知症予防について 講義、体操を実施。	参加者19名。センターのPRと転倒・認知症予防の普及啓発が行えた。
2月27日	村上公民館	講座開催 『腰痛予防の介護法』	0				0	腰痛のメカニズム、福祉用具を使った方法などから腰痛予防について学ぶ。	市民向けの講座。参加者7名。地域の訪問看護ステーションと福祉用具事業所に講師を依頼し、より専門的な内容の提供と、地域貢献の機会となった。
3月22日	いちよりの会	いちよりの会 (元気体操)	0				0	取り組みの内容や空き状況の把握。 参加者へのセンター機能の周知、関係者との関係づくり、連携強化。	介護予防・健康増進の一環として、大学の教授による講義等を提案。今後、実施していく方向で検討することとなった。
3月22日	村上地域包括支援センター	地域包括支援センターの周知 (メガホンホーテ)	0	0			0		半年前に設置依頼したパンフレット20部は全て配布されていた。センター機能の効果的な周知に繋がることを確認した。

②介護支援専門員等に対する個別支援

実施種別	実施の有無	
	有	無
相談窓口	有	無
支援困難事例を抱える介護支援専門員への対応	有	無
個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	有	無
質の向上のための研修	有	無
ケアプラン作成指導等を通じた介護支援専門員のケアマネジメント指導	有	無
介護支援専門員同士のネットワーク構築	有	無
介護支援専門員に対する情報支援	有	無
ケアプランの趣旨に基づいてサービスが提供されるよう、居宅サービス事業所 への研修等の働きかけ	有	無
その他(具体的内容を簡潔に記載)		
平成30年7月12日 八千代市地域包括支援センター共催ケアマネジメント研修会開催。 平成31年2月28日 八千代市地域包括支援センター共催主任介護支援専門員対象ケアマネジメント研修会開催。		

③個別ケース地域ケア会議開催実績

開催状況	開催件数	2
	内容(重複可)	
	独居高齢者世帯に関するもの	2
	高齢者世帯に関するもの	0
	認知症高齢者の支援に関するもの	1
	介護支援専門員支援に関するもの	0
その他	0	

④地域課題に係る圏域地域ケア会議開催実績

日時	平成30年8月31日	日時	平成31年1月28日
場所	村上公民館	場所	村上公民館
会議議題	会議趣旨説明 事例検討 事例検討から考えられる地域課題の発掘 地域課題に対しての検討・意見交換	会議議題	前回検討事例進捗報告 事例検討 事例検討から考えられる地域課題の発掘 地域課題に対しての検討・意見交換
参加者数	16名	参加者数	12名

(参加者数は地域包括支援センター職員を除く) (参加者数は地域包括支援センター職員を除く)

4. 介護予防普及啓発事業 (いきいき教室の開催)

日時	参加人数	場所	内容
平成30年6月8日 6月15日 6月22日 6月29日 7月6日	15名 12名 12名 13名 11名	村上公民館	運動の必要性について学ぶ 運動習慣による身体的効果について 転倒による危険性を学ぶ 継続した運動の必要性について学ぶ 身近で手軽にできる体操の実施 ロコモティブシンドロームについて理解する 口腔機能維持の大切さを学ぶ 認知症予防について理解する 運動習慣の大切さについて学ぶ
平成30年10月3日 10月10日 10月17日 10月24日 10月31日	12名 13名 10名 9名 11名	下市場公会堂	
平成30年11月1日 11月8日 11月15日 11月22日 11月29日	13名 11名 12名 11名 11名	上高野原 連合自治会館	

5. 認知症地域支援・ケア向上一部事業

月日	実施内容
毎月1回	八千代市認知症推進員会議出席
5月9日	認知症サポーター養成講座開催(シルバー人材センター婦人部会対象)
9月13日	認知症サポーター交流会開催(市内包括共催)
9月27日	認知症家族交流会開催(市内包括共催)
2月6日	市内(看護)小規模多機能事業所の部会会議出席

6. 生活支援体制整備事業

月日	実施内容
4月24日 9月25日 11月19日	八千代市生活支援コーディネーター会議出席
7月18日 10月10日 2月8日	第1層生活支援体制整備事業協議体会議出席
10月2日 3月5日	第2層生活支援体制整備事業協議体会議開催 (下記参照)
その他の取り組みは 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、地域支援ネットワークの構築・強化欄に記載。	

日時	平成30年10月2日
場所	村上公民館
会議議題	第2層生活支援体制整備事業について 村上地域生活支援コーディネーターの動きについて 地域での取り組み紹介 意見交換
参加者数	15名

(参加者数は地域包括支援センター職員を除く)

日時	平成31年3月5日
場所	村上公民館
会議議題	地域での取り組み紹介 村上地域生活支援コーディネーターの活動報告 (高齢者集いの場の作成マップ提示等) 来年度活動予定 意見交換
参加者数	15名

(参加者数は地域包括支援センター職員を除く)

7. 指定介護予防支援、介護予防ケアマネジメント

①介護予防支援給付管理実績（月遅れ請求分は請求月に含む）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理件数	69	78	81	75	77	78	84	78	80	79	80	79	938
内 包括分	30	35	34	33	33	33	33	28	26	26	25	27	363
内 委託分	39	43	47	42	44	45	51	50	54	53	55	52	575

②介護予防ケアマネジメント給付管理実績（月遅れ請求分は請求月に含む）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理件数	102	104	111	114	112	110	114	114	108	106	107	113	1315
内 包括分	55	55	54	54	53	50	50	51	50	49	50	54	625
内 委託分	47	49	57	60	59	60	64	63	58	57	57	59	690

③介護予防支援、介護予防ケアマネジメント実務数（センター担当分）

a. 介護予防支援サービス計画作成数

新規	再作成	合計
12	117	129

b. 訪問対応件数

実数	延数
111	644

c. 電話・来所対応件数

電話	ケースに関連する内容	3386
	ケース以外の内容	100
	住宅改修のみ	64
来所	ケースに関連する内容	199
	ケース以外の内容	89

④介護予防支援、介護予防ケアマネジメント一部業務委託先一覧

介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント 一部業務委託事業所	
グリーンヒル指定居宅介護支援事業所	指定居宅介護支援事業所ほうゆうの里
セントマーガレット病院	グリーンヒル八千代台居宅介護支援
NPO法人 ユーアイやちよ勝田台	コミュニケア24志津居宅介護支援事業所
勝田台病院	あずみ苑勝田台
在宅介護支援センター愛生苑	居宅介護支援事業所はにーびい
ライフパートナー居宅介護支援事業所	さくらリハビリ訪問看護ステーション
勝田台ケアセンターそよ風	ヤックスケアプラン大和田
在宅介護支援センター美香苑	ユーカリが丘在宅支援センター
あすなる介護サービス	ほっとケア和
ニチイケアセンター八千代緑ヶ丘	八千代ケアセンター
居宅介護支援事業所オーケーサービス	ういず・ユー 支え愛 志津
ういず・ユー介護プラン相談所 支え愛	アイズケア居宅介護支援事業所
ファーストステージ居宅介護支援センター	はなぶさ苑荒川居宅介護支援事業所
居宅支援センターマリンピア銚子	ケアプランつむぎ
在宅介護支援センターはなみずき	ケアプラン相談所・元気庵八千代店
ケアサービス伊東 てまり営業所	ケアプランスキルアップ
ケアプラン未来	-

※平成30年度中に給付管理を行なった居宅介護支援事業所 順不同。

6. 研修参加

日にち	研修名	参加者
6月5日、6日	平成30年度 認知症地域支援推進員研修(新任者研修)	認知症推進員
6月27日	平成30年度 生活支援体制づくりセミナー	生活支援コーディネーター
7月24日	平成30年度高齢者虐待防止対策研修会(管理職及び新任者研修)	看護師・社会福祉士
9月6日、13日、27日	平成30年度高齢者虐待防止対策研修会(現任職員研修)	社会福祉士
9月7日	平成30年度第1回キャラバン・メイト養成研修	看護師
9月13日、14日	平成30年度千葉県地域包括支援センター職員初任者研修	看護師
10月10日 11月2日、3日、20日、21日 12月4日、5日、18日	平成30年度専門研修課程Ⅱ・更新研修後期	社会福祉士
10月16日、17日	平成30年度千葉県地域包括支援センター職員現任者研修	社会福祉士
11月6日、13日	平成30年度千葉県地域包括支援センター職員現任者研修	看護師
12月7日、1月12日	平成30年度千葉県生活支援コーディネーター養成研修	生活支援コーディネーター
12月21日	地域ケア会議に係る市町村研修会	主任介護支援専門員
1月9日	平成30年度高齢者虐待防止対策研修会(専門研修)	社会福祉士
1月13日、21日	平成30年度千葉県生活支援コーディネーターフォローアップ研修	生活支援コーディネーター
3月19日	やちよケアマネネットワーク研修	主任介護支援専門員 介護支援専門員

7. 会議参加

日にち	会議名	出席者
毎月1回	八千代市地域包括支援センター管理者会議	センター長
毎月1回	八千代市地域包括支援センター主任介護支援専門員会議	主任介護支援専門員
毎月1回	八千代市地域包括支援センター社会福祉士会議	社会福祉士
毎月1回	八千代市地域包括支援センター看護職会議	保健師・看護師
1月16日	八千代市高齢者虐待防止地域連絡会代表者会議	社会福祉士
2月7日	八千代市地域包括支援センター運営協議会	センター長
9月21日 2月15日	八千代市在宅医療・介護連携推進会議	センター長
毎月1回	村上地域包括支援センター課内会議	全職員
毎月1回	村上地域包括支援センターケース会議	全職員

※その他、地域関係者との会議については包括的・継続的ケアマネジメント欄に記載。